新しい公共」時代の、つくるということ。

八戸ポータルミュージアム -ディネーター 柳沢拓哉

のも無理は無い

してきた。生来のO脚が悪化する

なるモノ。 的に、と踏み込むことを自らに課 なのだろう。ここ数歳の私個人の の意味ほどに二項対立関係は無 同時多発性、 有り様は、より内側へ、より責任 いて、どちらも必要不可欠な要素 これらは現実の世界では、言葉 創造的にものを創る現場にお ゲリラ的なるモノ(自発性、 即時性…)と管理的

半から、複数の友人知人の新たな 今年度はもう少し自分の意思を表 憧憬することしきりだった私は、 挑戦や、軽やかで前向きな姿勢を な出会いと別れがあった。 ドでも成果を残していきたいと思 っている。 インサイドでもアウトサイ 吐いたツバを飲み込むこと 年度が切り替わり、 昨年後 新た

コトラヨイサー」では、盲聾学校 ロジェクトの一つ、 (3)昨年のはっちレジデンスプ スー・ハイドゥの「デ ベトナム人ア

について、

一緒に活動してきた市

また、これまで中心街の活性化

民有志の企画で「哲学カフェ」と題

した対話型のトークも定期的に開

やレクチュア・トークもあるだろ

を流していきたい。

のキャパシティビルディングに汗

これからも、

まちとはっち

そして共につくってもらう

もあるだろうし、

ワークショップ

生み出されていく。 転する中から、八戸固有の地域資 り手と受け手、内外が交錯し、逆 ダレスなプロジェクトである。 市民ダンサーなど多彩な顔ぶれが ク関係者、 方々とともに制作し、 の皆さんや市民ボランティアの アートプロジェクトを形成してい 源に新しい光が当てられ、 二重、三重の意味でのボー 朝市・陸奥湊関係者 地元トラッ 価値が

氏より、

「最近のことで、

何でも

タナティヴスペース主宰のben

(1)この欄の担当である某オル

示を受けた。

何でも良いって、ま

あんた。と言いたいところだ いつも御願い事ばかり重ねて

つと…。

(2)アウトサイダーとインサイ

うはずが無い。書ける事をぽつぽ いる当方として断る余地など有ろ 良いから書いて。3日で」との指

じて様々な気づきを生み出してい

た方は是非、

ご連絡ください!!

と、ここでお話できるのはこ

こまで。 :. 観の揺らぎの時代。

対話の場を通

していくことになる。

興味を持

催していく。私も個人的に参加す

う。

この演劇事業実施に当たり

新しい挑戦をしたい方々を大募集

るが、未曾有の震災を経た、価値

師とし、 対象として、 予定だ。 提案するような、 く。 市民としても、継続的なトーク事 トークを月一回程度開催していく 業をはっちを舞台に実施してい (4)今年は、職員としても、 公式企画では、 豊かなライフスタイルを 市内の様々な方を講 参加型の小さな 20人~30人を

昨年開催の演激対話の一コマ

創り上げ、上演するもの。 校演劇関係者、そして新たに演劇 を担ってきた演劇人の方々と、 劇連続上演を実施するプロジェク 間に渡り、 10月23日から11月12日の秋の3週 劇ウィーク」である。この事業は、 せたい事業は、「(仮称)はっち演 活用する。【演劇の盛んな街・八戸 に携わりたい、という若者が共に その地点へ向かって、 (5) b e n氏が、最も私に書 シアターを、シアターとして はっちシアター2で演 公開練習

めそうだが

とも…あるのかも。

自分の首を絞

りに思いたい。 だろう。民間主催でこうした取組 くことは、 みが起こるまちであることを、誇 スペクティヴに深みを加えていく 八戸という都市のパー 哲学カフェの風景

はっち シアター2

ちらの欄で状況をお知らせするこ よい緊張感を継続しながら、 まっていくもの。当然、 創で取り組んでいくこれから、 なものを生み出していきたい。こ てのスタンスや縛りはある。 くかは、まさに演劇人の方々と共 この事業がどのように進んでい 施設とし 新た 心地 決

Amusement Negative Shop

は無い。つくること、

つくらない

供できる。こんなに楽しいしごと

できて、若い方々に挑戦の場を提

演劇人の方々と一緒に取り組み

タイトル: だべり場2012.05/構成: FANS ※入場無料。自由放談。 ○FANS予定(952~955回) join-fans-info.tujb@ml.freeml.com に空メールを送ると、公演情報案内のメーリングリストに登録できます。

演劇空間

■八戸市柏崎1 TEL. 0178 FAX. 050-携 帯. 080--11の178-43-9876 050-3588-8350 080-6025-0990

金曜日は午後7時30分~、 ※特別番組以外 金曜日は午後7時30分~、土曜日は午後2 料金/一般前売400円 高校生以下100円(当日100円増) 土曜日は午後2時~

※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、 ホームページまたはメールマガ ジンでご確認下さい。 HP http://spaceben.com/ Eメール owner@spaceben.com